

令和6年（1～12月） における火災の状況 （概数値）

消防庁防災情報室

1 総出火件数は37,036件、前年より1,636件の減少

令和6年（1～12月）における総出火件数は、37,036件で、前年より1,636件（4.2%）減少しています。これは、平均すると1日当たり約101件、約14分ごとに1件の火災が発生したことになります。

また、火災種別で見ますと、次表のとおりです。

令和6年（1～12月）における火災種別出火件数

種別	件数	構成比(%)	前年同期比	増減率(%)
建物火災	20,908	56.5%	▲66	-0.3%
林野火災	833	2.2%	▲466	-35.9%
車両火災	3,538	9.6%	17	0.5%
船舶火災	62	0.2%	4	6.9%
航空機火災	3	0.0%	2	200.0%
その他火災	11,692	31.6%	▲1,127	-8.8%
総火災件数	37,036	100%	▲1,636	-4.2%

2 総死者数は1,436人、前年より67人の減少

火災による総死者数は、1,436人で、前年より67人（4.5%）減少しています。

また、火災による負傷者は、5,742人で、前年より24人（0.4%）減少しています。

3 住宅火災による死者（放火自殺者等^{*}を除く。）数は970人、前年より53人の減少

建物火災における死者1,193人のうち住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災における死者は、1,044人となっています。更にそこから放火自殺者等を除くと970人で、前年より53人（5.2%）減少しています。

なお、建物火災の死者数に対する住宅火災の死者数の割合は87.5%で、建物火災の件数に対する住宅火災の件数の割合53.7%と比較して非常に高くなっています。

（※放火自殺（心中を含む。）者及び放火自殺巻き添え・放火殺人の犠牲者。）

4 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）の4人に3人が高齢者

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）970人のうち、65歳以上の高齢者は730人（75.3%）で、前年より32人（4.2%）減少しています。

また、住宅火災による死者の発生した経過別の内訳は、逃げ遅れ439人（前年比24人（5.8%）増）、着衣着火37人（前年比1人（2.6%）減）、出火後再進入16人（前年同）、その他478人（前年比76人（13.7%）減）となっています。

5 出火原因として最も多いものは「たばこ」、次いで「たき火」

総出火件数の37,036件を出火原因別にみると、「たばこ」3,038件（8.2%）、「たき火」2,770件（7.5%）、「こんろ」2,702件（7.3%）、「電気機器」2,548件（6.9%）、「放火」2,355件（6.4%）の順に件数が多くなっています。

問合せ先

消防庁防災情報室
TEL: 03-5253-7526